令和６年６月１８日

広　島　信　用　金　庫

第７９期 通常総代会 について

広島信用金庫（理事長　川上　武）では、本日（６月１８日）開催の、第７９期通常総代会において、下記の事項を報告ならびに決議しましたのでお知らせいたします。

記

１．令和５年度（第７９期）決算概要

（１）業容について

預　　金	１，６７１，０７７百万円	（前期比 30,104 百万円増　1.8%増）
貸 出 金	１，０６０，８３９百万円	（前期比　4,711 百万円増　0.4%増）

預金は、内容の充実を第一に地域に密着した営業活動を推進いたしました結果、前期比３０１億円増加し、期末残高は１兆６，７１０億円となりました。

貸出金は、地域経済の活性化を図るため地域の皆さまの資金ニーズに積極的に対応いたしました結果、前期比４７億円増加し、１兆６０８億円となりました。

（２）利益について

経 常 収 益	２０，７１８百万円	（前期比	302 百万円増　1.4%増）
実質業務純益	４，６９４百万円	（前期比	365 百万円増　8.4%増）
コア業務純益	４，８９２百万円	（前期比	358 百万円増　7.9%増）
経 常 利 益	３，２０２百万円	（前期比	605 百万円減　15.8%減）
当期純利益	２，２３９百万円	（前期比	513 百万円減　18.6%減）

余裕金利息や役務取引等収益の増加などにより、経常収益は前期比３億２百万円増収の２０７億１８百万円、コア業務純益は前期比３億５８百万円増益の４８億９２百万円となりました。

一方、与信コストの増加などにより、経常利益は６億５百万円減益の３２億２百円、最終利益である当期純利益は、５億１３百万円減益の２２億３９百万円となりました。

（３）不良債権の処理状況について

資産のさらなる健全化をはかるべく、厳格な自己査定にもとづく不良債権の処理を行いました結果、令和６年３月期における不良債権処理額は、１５億４３百万円（前期比１億６９百万円増、１２．３％増）となりました。

（４）信用金庫法および金融再生法による開示債権について

（金額単位：百万円）

	開示額 ③	担保・保証等 ②	貸倒引当金 ③	保 全 率 （②＋③）／①
破産更生債権等	2,896	922	1,973	100.0%
危 険 債 権	26,676	15,031	5,296	76.2%
要 管 理 債 権	414	210	39	60.1%
三月以上延滞債権	23	23	―	100.0%
貸出条件緩和債権	391	186	39	57.7%
小 計	29,987	16,164	7,309	78.2%
正 常 債 権	1,035,709			
合 計	1,065,697			

信用金庫法および金融再生法上の不良債権額は、２９９億８７百万円（前期比２１億２百万円増、７．５％増）となり、不良債権比率は前期比０．１９ポイント上昇し、２．８１％となりました。なお、不良債権額のうち７８．２％は、担保・保証等および貸倒引当金により保全がはかられております。

（５）自己資本比率（国内基準）について

自 己 資 本 総 額 ① － ②	１０６，２２２ 百万円
コ ア 資 本 に 係 る 基 礎 項 目 ①	１０９，１３６ 百万円
コ ア 資 本 に 係 る 調 整 項 目 ②	２，９１３ 百万円
リ ス ク ア セ ッ ト	８０５，１２２ 百万円
自 己 資 本 比 率	１３．１９％

自己資本比率は１３．１９％となり、引き続き国内基準の４．０％を大きく上回っております。

（６）令和６年度計画について

・経 常 収 益　２００ 億円程度　　・コア業務純益　４２億円程度
・経 常 利 益　２６ 億円程度　　・当 期 純 利 益　１８億円程度
・自己資本比率　１３ ％台　　・不良債権比率　２ ％台

＜参考＞ 連結決算の概要

・連結される子会社及び子法人等

ひろしんビジネスサービス株式会社
ひろしん保証サービス株式会社
ひろしん農業育成投資事業有限責任組合

・連結業績

経　常　収　益	２０，８３９ 百万円	（前期比	298 百万円増　1.4%増）
経　常　利　益	３，３０２ 百万円	（前期比	632 百万円減 16.0%減）
当 期 純 利 益	２，３０５ 百万円	（前期比	531 百万円減 18.7%減）
連結自己資本比率	１３．２３ %		

２．役員異動（令和６年６月１８日付）

（１）新任

常勤理事　徳永　博　（前　融資部担当部長 ）
常勤理事　生田　英之　（前　事務部長）
常勤理事　武下　修　（前　横川支店支店長　兼　三篠支店支店長）

（２）退任　※（　）内は就任予定先

常勤理事　佐藤　隆行　（ひろしん保証サービス株式会社　代表取締役）

［お問い合わせ先］　経営企画部　広報室　TEL　082－245－0030